

# 乳がんを誤解してま

乳がんは早期発見・治療でちゃんと治ります！

## 宮良先生教えて！

一般的に、多くの人の脳裏にある「おっぱい切除」というのは、きつとBのような感じ。でも、これは十年以上も前の手術方法なのだそうだ。今時こんな手術をすることは逆に許されないことだそうです。

宮良先生—例えば、Aの写真を見てください。きれいに乳房が残っていますよね。これは乳がんが発見されて、すでにおっぱいの手術を終えた方です。今はこのような乳房温存療法が主流となっていて、前にも述べたように乳がんが発見されたからといって必ずしも乳房全てを切除するということはないんです。

編—早期発見できれば、おっぱいを残すことが出来るのですね。実際どんな感じでしょうか。

あつても、色々な方法を駆使しておっぱい切除を回避できるようになってます。さらにはおっぱいを切除されても、**乳房再建方法**が進歩し、人工乳房に関しても一部保険で対応できるようになってきました。

# せんか？

●乳がんを誤解してませんか？

前回までに、乳がん検診についての様々な疑問を解消してきました。そこで、意識調査をしたところ「**乳がん発見＝おっぱい切除**」というイメージが根強くあるようです。果たして、切除以外の方法はないのだろうか？先生に聞いてみました！

編—乳がんが発見されると、おっぱいは必ず切除されるんですか？

宮良先生—まず乳がんが発見されればおっぱいを切除してしまうというイメージを捨ててほしいと思います。今は早期発見されればほとんどの患者さんは**おっぱいを残すことが出来ます**。また残念ながらかなり進行した状態で

編—早期発見ができれば、おっぱいの形状をあまり変えなくてすむんですね！

宮良先生—そうですね。ポイントは、やはり**早期発見**です。当院では昨年4人に1人の患者さんが手術だけで治療を終えました。知らないと思いますが、**乳がんの治療＝手術ではないのです**。これまで多くの患者さんは手術後も抗がん剤や長期間の治療を余儀なくされてきました。しかし早期発見されたことで実に25%の患者さんが手術だけで治ることが出来たのです。これは今まで考えられない事でした。

編—え？手術で取り除けば、すなわち完治と思っていました。完治にはならない？

宮良先生—乳がん治療はどんどん進歩して、世界では2年毎に治療内容が見直されていて普通の外科の先生では、もうついてこれなくなっているのが現状なのです。つまり乳がんの多くは手術だけでは治らないからです。それは乳がんには色々なタイプがあり、それに合わせて色々な治療法が次々と考えだされています。

将来は手術を省略できる治療方法も出てくると期待しています。ただどんな時においても、とても重要なものは**早期発見**なのです。

やっぱり重要なのは、「**早期発見**」。早期発見ができたことで切除の有無も程度も変わってくるんですね。先生、どうもありがとうございます！



女性外来 乳腺・甲状腺専門  
**宮良クリニック**

| 受付時間              | 月 | 火 | 水 | 木   | 金 | 土 | 日 |
|-------------------|---|---|---|-----|---|---|---|
| 午前<br>8:30~12:30  | ○ | ○ | ○ | 手術日 | ○ | ○ | 休 |
| 午後<br>13:30~17:00 | ○ | ○ | ○ | ○   | ○ | ○ | 休 |

那覇 比佐ハウス ● 大謝名

58

トヨタ カローラ

宮良クリニック ● 海鏡浦添支店2階

パイプライン

330

N

ご予約はこちらから  
TEL : 098-878-3311



### 宮良クリニック院長 宮良球一郎先生

琉球大学第一外科で一般外科・内分泌外科を修得後、最先端の「乳がん治療」を徳研附属病院乳腺外科及び徳研研究所乳腺病理で学び、沖縄から新しい乳がん治療を発信するため帰郷。那覇西クリニックで乳腺専門医師として数多くの患者さんと接しながら、県内各地で正しい乳がん検診の重要性を講演。平成17年、浦添市に女性のための乳腺・甲状腺専門クリニック「宮良クリニック」を開院。スタッフと共に（和）をメインテーマに日本各地の乳腺専門医と連携をとりながら乳がんの早期発見、正しい診断・治療を実践している。医療の傍ら「全ては乳がん患者さんのために」を主旨とした「琉球乳腺倶楽部」を設立。医療機関の壁を取り払った患者さんのための【患者会】活動のサポートを続けている。